

岩国医療センター周辺の開業医の先生方 各位

2023年5月吉日

平素より大変お世話になっております。

この度は突然のご連絡となり誠に申し訳ございませんが、2023年5月31日付で当科浦田の外来枠が閉じ、元々週2.5回の非常勤医で対応していた患者様を週1.5回の外来で対応する事になりましたので、2023年6月以降当科外来が大変混雑する事が予想されます。

これまで、非血液疾患あるいは専門医でなくても治療可能な下記疾患に関するご紹介に際しても、ご紹介いただきましたら原則当院で受け入れるようにしておりましたが、今後は難しくなります。いくつか精査項目と治療方針を提示致しますので、まずはそちらを行っていただき、それでも改善が乏しい場合には当科にご紹介いただけますと幸いです(ご紹介内容によっては、総合内科を含む他科への受診を勧めさせていただく事もありますので、何卒ご了承ください)。

・小球性貧血

→Fe、UIBC、フェリチンを確認してください。

フェリチン<12ng/mLであれば、鉄欠乏性貧血(IDA)ですので、消化管の精査(女性であれば婦人科疾患の精査も)をお願いします。TMPRSS6 遺伝子の変異に伴う遺伝性の鉄剤不応性 IDA という病態がありますが、日常臨床で遭遇する事は稀です。

フェリチン高値であれば、炎症性貧血が疑わしいです。膠原病を示唆する身体所見や血清学マーカー値の異常がないようでしたら、当科にご紹介ください。

また、IDAにより反応性に血小板高値を認める症例がありますのでご留意ください。

・大球性貧血(白血球減少と血小板減少を伴う事もあります)

→ビタミン B12 と葉酸を確認してください。

胃切除の既往とビタミン B12 低値があれば、胃切除後ビタミン B12 欠乏性貧血ですので、3ヶ月に1回ビタミン B12 筋注を終生お願いします。

胃切除の既往がなくビタミン B12 低値であれば(多くは著減しています)、悪性貧血の可能性が高いです。年1回の上部消化管内視鏡検査と3ヶ月に1回ビタミン B12 筋注(血球減少が高度な場合は、週1回を4回→月1回を2回→その後は3ヶ月に1回)またはビタミン B12 内服(メチコバル錠 500 μ g 3錠 1日3回 毎食後→貧血の改善とビタミン B12 値によって適宜減量可)を終生お願いします。

ビタミン B12 や葉酸が軽度低下に留まっている症例は、補充を試して改善が乏しければ MDS 等の血液疾患が隠れている可能性がありますので、当科にご紹介ください。

- ・多血症

→白血球と血小板増多を伴っていないければ、相対的多血症あるいは二次性多血症が疑わしいです。JAK2 V617F 変異(代表的な外注検査機関で保険収載されていますので、下記 URL をご参照ください)とエリスロポエチン(EPO)を測定してください。

- ・ SRL

<https://test-guide.srl.info/hachioji/test/detail/044452401>

- ・ BML

<https://uwb01.bml.co.jp/kensa/search/detail/8305070>

- ・ LSI

<https://data.medience.co.jp/guide/guide-08050003.html>

白血球と血小板増多を伴っている場合(この場合は真性多血症が疑わしいですので、上記検査は不要です)、あるいは JAK2 V617F 変異が検出されるようでしたら当科にご紹介ください。また、JAK2 V617F 変異が検出されない場合でも EPO 低値でしたら当科にご紹介ください。

EPO 高値の場合は、喫煙習慣、慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群がない方であれば、EPO 産生腫瘍の検索目的に全身のスクリーニング検査が必要です。CT 施行をご検討ください。

EPO 正常の場合、相対的多血症をきたすような肥満、高血圧・糖尿病・脂質異常症等といった生活習慣病や飲酒歴を有している患者さんであれば、まずはそちらに対する介入を行っていただき、それでも改善が乏しい場合は当科にご紹介ください。そういったリスクがない患者さんでしたら、そのまま当科にご紹介ください。

- ・血小板減少症

→鏡検での血小板凝集像の有無やクエン酸 Na 入スピッツ(PT 等の凝固能を調べるスピッツです)で再検していただき、EDTA 依存性偽性血小板減少症を否定の上、ご紹介ください。

血小板数<3 万かつ出血傾向を認める際は、真に血小板数が低い可能性が極めて高いため、すぐに当科にご紹介ください(ご紹介いただいた曜日の関係で、すぐに当科で対応できない場合は、近隣の血液内科常勤医がいらっしゃる病院へのご紹介を勧めさせていただく場合がありますので、何卒ご了承ください)。

先生方には日常臨床でお忙しい中多々ご迷惑をおかけする形となり誠に申し訳ございませんが、岩国市周辺の血液疾患でお困りの患者様の外来診療を円滑に進めるために、何卒ご理解いただけますと幸いです。

なお、検査病名に関しては下記ご参照ください。

- ・ Fe、UIBC、フェリチン→鉄欠乏性貧血疑い
- ・ ビタミン B12、葉酸→悪性貧血疑い
- ・ JAK2 V617F 変異→真性多血症疑い
- ・ エリスロポエチン→腎性貧血疑い

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

岩国医療センター 血液内科 北村、浦田 拝